

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和6年8月7日

独立行政法人水資源機構

味噌川ダム管理所長 市川 滋己

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、味噌川ダム管理事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、木曽川水系及び豊川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出をお願いします。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等をご記入下さい。
なお、参考見積書の様式は問いませんが、項目は別紙-2を参考にして下さい。
- (2) 提出期限：令和6年8月27日(火)16時まで
持参される場合は、上記期限内の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時から16時まで

(3) 提出先

独立行政法人水資源機構 味噌川ダム管理所長 市川 滋己 宛

【担当】維持管理班 櫻井 彰大

〒399-6203 長野県木曽郡木祖村小木曽 2058-22

TEL 0264-36-3111 FAX 0264-36-3485

(4) 提出方法

持参、郵送又はFAX（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件

ダム貯水池において、別途実施する河川横断測量及び深淺測量の結果を基に貯水容量の計算、現在洪水位の計算、平均河床高の計算、堆砂量の計算、堆砂状況調査図等の作成を行うものです。

(2) 業務作業項目、作業内容

別紙-1 「見積仕様書」のとおりとします。

(3) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する工事費（業務費）の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（2）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者の人数等を徴取します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和6年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期限：令和6年8月20日(火)16時まで
持参される場合は、上記期限内の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時から16時まで
- (2) 提出場所：3. (3)に同じ。
- (3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和6年8月22日(木) から令和6年8月27日(火) まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

御社でのご負担をお願いします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. 見積有効期間

本件における見積有効期間は令和7年3月末日までとします。

10. その他

- (1) この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。
- (2) 見積書の作成にあたっては、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律等の法令を遵守し、競争を制限する目的で他の者と価格についていかなる相談も行わないようお願いいたします。
- (3) ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

以上

見積仕様書

1. 見積範囲の概要

ダム貯水池において、別途実施する河川横断測量及び深淺測量の結果を基に貯水容量の計算、現在洪水位の計算、平均河床高の計算、堆砂量の計算、堆砂状況調査図等の作成を行う。

2. 業務場所

長野県木曾郡木祖村小木曾地内(別添図-1、2 参照)

3. 準拠基準等

- (1) 測量調査等業務共通仕様書(平成27年4月) 独立行政法人水資源機構
- (2) ダムの堆砂状況調査要領(案)(平成17年6月29日) 国土交通省河川局

4. 業務内容

- (1) 貯水容量の計算等
 1. 別途実施する河川横断測量及び深淺測量の成果を基に、貯水容量(貯水位別・測線別)を算出する。あわせて貯水位一貯水容量曲線図を作成する。
 2. 貯水位別貯水容量は、設計洪水位 EL. 1, 127.0mから貯水池最深河床高まで1m間隔及び最低水位 EL. 1, 052.5m、予備放流水位 EL. 1, 122.3m、常時満水位 EL. 1, 122.50mで細分する。
- (2) 現在洪水位の計算
 1. 別途実施する河川横断測量及び深淺測量の成果を基に、現在洪水位を算出するものとする。
 2. 現在洪水位の計算は、不等流計算法により、出発点横断測線 No. 1 出発水位 EL. 1, 122.50m 流量 650 m³/s 粗度係数 0.04 として行うものとする。
- (3) 平均河床高の計算
上記、(1)貯水容量計算等の結果及び(2)現在洪水位の計算結果から、平均河床高を算出する。
- (4) 堆砂量の計算
上記、(1)貯水容量計算結果を基に、本年度の堆砂量(貯水位別)を算出する。算出は、令和5年度味噌川ダム堆砂測量業務報告書(令和6年2月)をもとに行う。
- (5) 堆砂状況調査図等の作成
 1. 平面図・河床縦断図及び河床横断図に現在洪水位・平均河床高等を記入するとともに、堆砂状況調査表等を作成する。
 2. 作成する様式及び図面縮尺等の詳細は別途とする。

5. 計算条件等

計算条件等は以下に示すとおりとする。

- ・ 計算開始水位 EL1, 122.50m
- ・ 計算開始地点 No.1 断面
- ・ 設計洪水流量 650m³/s
- ・ 計算断面数 40測線
- ・ 粗度係数 $n=0.04$

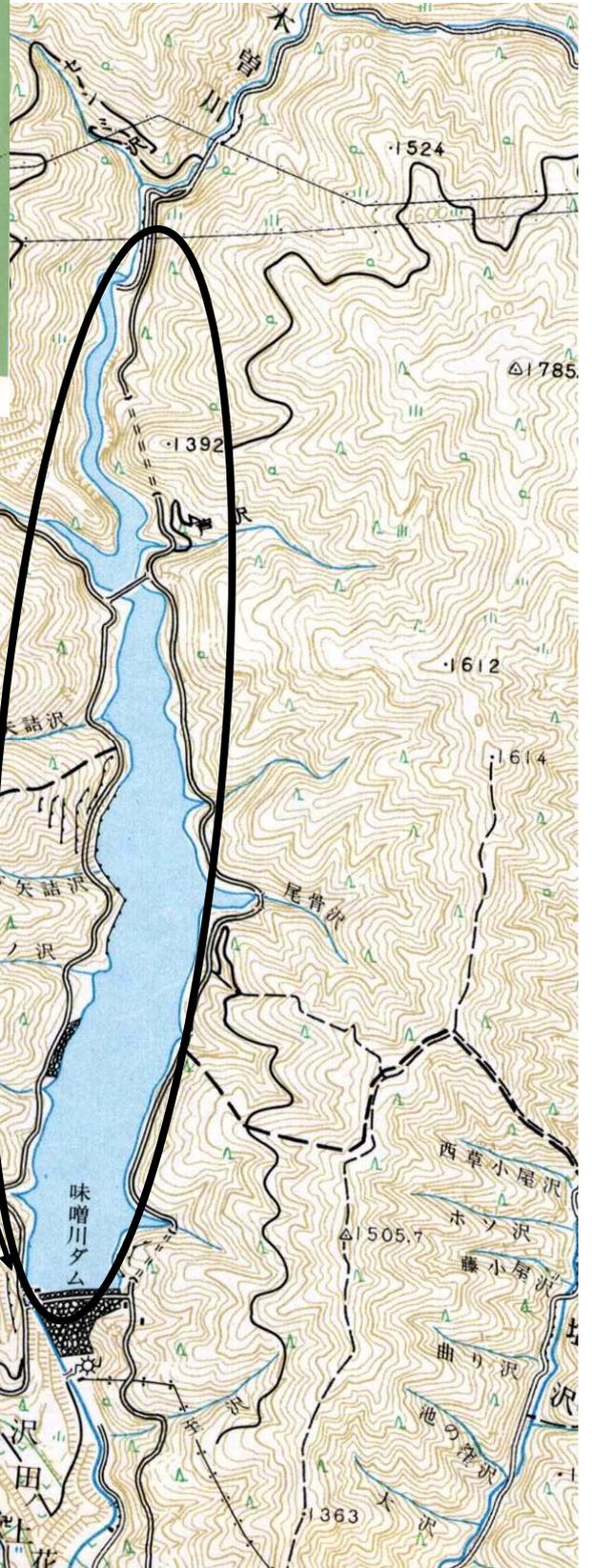
— 以 上 —

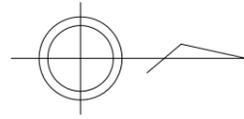
歩掛参考見積 直接人件費内訳

種 別 \ 職 種	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技 術 員	摘 要
貯水容量の計算等	人	人	人	人	人	
現在洪水位の計算	人	人	人	人	人	
平均河床高の計算	人	人	人	人	人	
堆砂量の計算	人	人	人	人	人	
堆砂状況調査図等の作成	人	人	人	人	人	

※ 種別の詳細（細別等）が記載以外に必要な場合は、追加して記載願います。

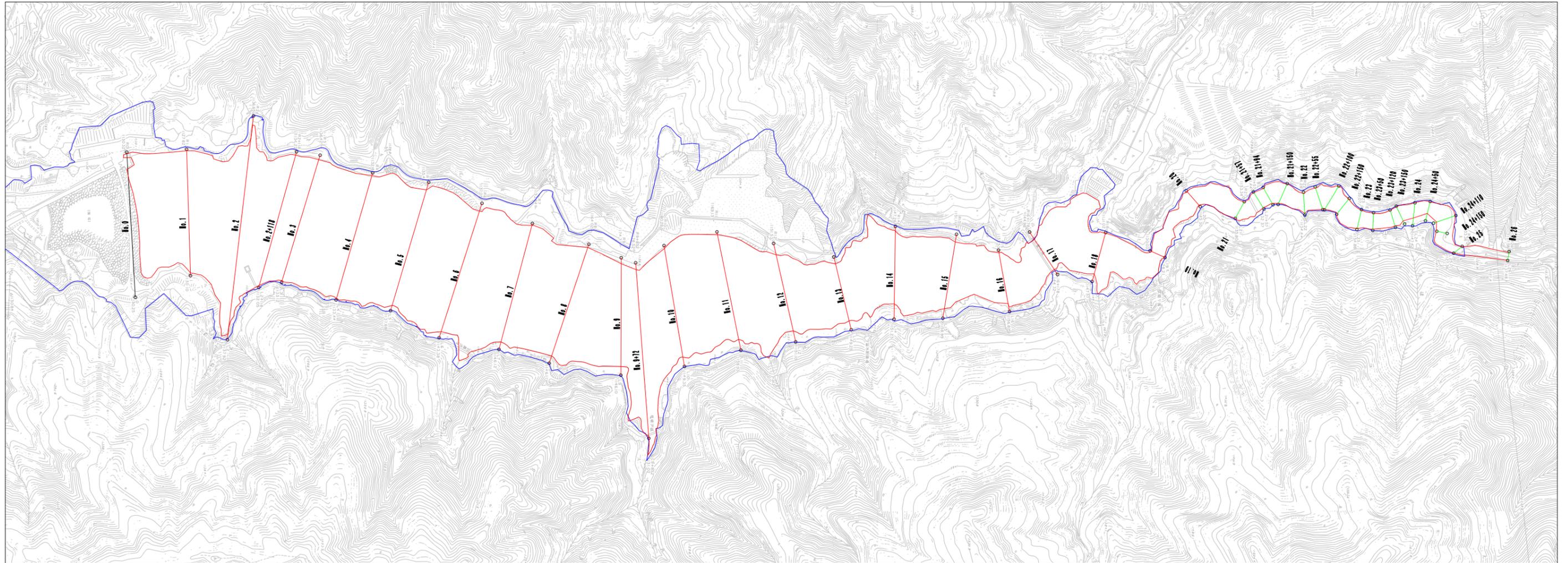
令和6年度味噌川ダム堆砂測量業務





貯水池平面図

S=1:10,000



本図はA1版をA3版に縮小したものである。

名称	令和6年度味噌川ダム堆砂測量業務	
図面番号		整理番号
独立行政法人 水資源機構 味噌川ダム管理所		